

未来につなぐ命

測定所2周年企画

安全な食を子どもたちに

原発事故から5年目。測定所を開設してから2年。私たちは、測定を通じて、放射能から子どもたちを守りたいと願う多くの方々と出会ってきました。その中には、事故以降、魚類はまったく口にしていない。日本の食品は、怖いので輸入食品を買っているという方々にも出会いました。

2年間の測定結果から見えてきていることは、放射能に汚染されていない食品は、今はまだ数多く存在しきちんと選択すれば、子どもたちの被ばくを避けることは十分に可能であるということです。

不安のあまり輸入商品に頼ることは、別の危険を持ち込むことになってしまいます。

そこで、食の安全をトータルに知り、子どもたちの食の安全を確保するためにどうすればいいかを考える集いを企画しました。

農薬・化学肥料・遺伝子組換えなどに加え放射能汚染から子どもたちを遠ざけるために私たちにできることを一緒に考えたいと思います。



日時：5月23日（土）

時間：13:00 開場 13:30～16:30

場所：西宮市勤労会館第2会議室

参加費 無料

内容

○安全な食生活のために私たちにできること

齋田久子(主婦)さん

管理栄養士・消費生活コンサルタント

西宮市消費生活講座やJAの料理教室の講師を務める。

見分けて選ぶ輸入食品のQ&A100(食生活研究会編)の執筆に参加。



JR 西宮駅南7分・阪神西宮駅東10分

○放射能の汚染を避けるために私たちにできること

阪神・市民放射能測定所

2年間の測定結果と放射能測定の意義

○測定所見学と簡単なパーティ（自由参加）

集い終了後、測定所に移動して行きます。



主催：阪神・市民放射能測定所 協賛：NPO 法人 つむぎの家

連絡先：090-3828-9579（安東）

メール：shs.hanshin@gmail.com